

# 国道169号下北山村上池原地区防災対策

## 検討委員会 議事概要

1 日時 : 令和6年3月7日 21:00～

2 場所 : オンライン

3 出席者 :

委員長	京都大学 名誉教授	大西 有三
委員	関西大学 社会安全学部 教授	小山 倫史
委員	京都大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 准教授	橋本 涼太
委員	国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	渡邊 一弘
委員	国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員	浅井 健一
委員	国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター長	青山 淳
委員	奈良県県土マネジメント部次長 (土木・政策統括担当)	安井 広之

### 4 議 事

(1) 資料説明

(2) 質疑・意見交換

#### 主な議事内容

(1) 資料説明

事務局より配布資料に沿って説明

- ・現道での本格復旧について
- ・応急対策について

(議事)

○現道での本格復旧について

- ・当該箇所は昭和30年代にダムの付替道路として、発破などの旧来の工法で構築された道路であること、深層崩壊の危険度の高い渓流とされていること、堆積岩で構成される付加体であることなどから、深層崩壊の危険性があることを考慮し、本格復旧を検討すべき。
- ・今回の災害後に実施したボーリング調査で、比較的浅い箇所から最深30m附近までの間に、規則的な開口亀裂や、構造が連続しない不安定な岩盤層、及び地下水などを複数確認し、深層崩壊危険流域であることの蓋然性が高まった。また航空レーザー測量データを用いた地形判読を行うことにより、深層崩壊危険流域の範囲が明らかになった。
- ・現道での本格復旧については、どの案においても深層崩壊危険流域の地形を改変するため、応力解放により深層崩壊を誘発する可能性があることから、深層崩壊の被害が想定される箇所での原形復旧は困難である。
- ・本格復旧については、深層崩壊危険流域などを考慮する必要があるため高度な技術を要する。

○応急対策について

- ・本格復旧の完了までには、所要の時間が必要であり、その間の緊急輸送等への対応のため、監視員の設置等、所与の措置を加えて当面の安全確保が可能であれば、現地において緊急車両に限って通行可能な仮橋の確保を検討する。

以 上